

事務事業名		交付金活用通学路道路施設整備事業		所属部	建設部	所属課	建設工務課
総合 計画 体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	公共土木G	課長名	松村直樹
	施策名	〈12〉道路の整備		担当者名	今岡亮	電話番号	0854-40-1063 (内線) 2473
	目的 対象	市民	意図 市内及び市外へ安全で便利に移動できる。	予算 科目	会計	款	大事業 大事業名
	基本事業	〈034〉道路の新設・改良			0	1	4
目的 対象	道路利用者	意図 安全で便利に移動できる。	中事業 中事業名	1	0	1	0
				1	0	1	4

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
①生活道路の利用者 ②修繕が必要な生活道路等	①市内を安全で迅速に移動できるようにする。 ②修繕(補修)等を実施する。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H29 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	・防災・安全社会資本整備交付金を活用し、歩道整備を実施する。 ・雲南市通学路交通安全プログラムに基づき、計画的な整備及び修繕等を実施する。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
・市道宮西線測量・設計業務 ・市道新市線新市中線測量・設計業務 ・市道加多遠所線歩道整備工事 ・市道旭町三刀屋大橋線歩道整備工事(その2) ・市道加多遠所線土地購入費 ・市道加多遠所線補償費	・雲南市通学路安全推進会議において、関係部署から危険箇所の抽出を行い、毎年ローリングを行い、雲南市通学路交通安全プログラムに掲載し、緊急性の高い箇所から計画的に事業を実施している。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合	%	63.3	65.2	63.9	63.9
イ 生活道路で危ない場所があると感じている市民の割合	%	72.3	65.7	68.4	68.4
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)		② コストの推移		単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
【委託料】4業務	3,791千円	財源内訳	国庫支出金	千円	24,047	25,080	11,070	22,742
【工事費】加多遠所線歩道整備工事	11,889千円、旭町三刀屋大橋線歩道整備工事(その2) 496千円		県支出金	千円				
【用地費】加多遠所線(3名)	859千円		地方債	千円	14,600	14,700	6,300	13,200
【補償費】加多遠所線(2名)	621千円		その他	千円				
【需用費】	200千円		一般財源	千円	1,051	914	486	725
【地方債】合併特例債		事業費計		千円	39,698	40,694	17,856	36,667

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	・雲南市通学路交通安全プログラムに基づき、2路線の歩道整備工事が完了し通学路の安全が確保できた。
② 事業実施するうえでの課題	・毎年学校からの要望や地域、警察、市の合同点検による危険箇所の抽出により、通学路の交通安全対策に関する要望箇所が多数あげられ、対策実施が追いつかない状況である。
③ 課題解決に向けた改革改善等	・多数ある対策実施について対策を計画的かつ効率的に実施するため、雲南市通学路交通安全プログラムに基づき、緊急性の高い箇所から事業実施するとともに、防災・安全社会資本整備交付金を活用し、財源を確保しながら事業を継続していく。